



行事報告 <クラブ行事>

日帰りファミリースキー 令和6年2月25日(日) めいほうスキー場

N夫妻2人とH家3人の合計5人の参加でした。予定では余呉高原に行くつもりでしたが、雪の状況が思わしくなかったため急遽めいほうに変更しました。

◆参加者の感想◆

CITYファミリースキーに参加しました。めいほうは昔スキー協競技部の練習会で行って以来なので、ずいぶん久しぶりになります。自宅出発時から雨でどうなることかと思いましたが、現地に着く直前で、雪に変わり、良かったです。また、思ったほど混んでいなくて、その点も良かったです。で、びっくりはリフト券売り場でグレンデマップをもらおうと、売り場の人に聞いたところ、置いていません、売り場の台にマップが貼ってあって、コレをスマホで撮影してください。と言われてしまいました。最近はそのようになっているのでしょうかねえ。(N・T)

実に20年ぶりぐらいの「めいほう」でした。直前まで雨が降り続いていましたが、スキー場の直前に雪に変わり、少しほっとしました。スキー場は、スキーヤーよりボーダーが多く時代の流れを感じました。グレンデでHさん一家と集合、昼食後、何本か一緒に滑りました。バーンは、上の方は固く、下の方は水分を含んだ重い雪で、私にはちょっと辛い状態でしたが、広くて緩斜面が多く練習にはちょうど良かったです。「もっとスキーうまくなりたい」。来年のツアーを楽しみに！(N・C)



定年後の初スキー。60才になったら、たくさんスキーすると思っていましたが、暖冬と仕事が重なり、何と1日で終了しました。何とか、去年の滑りを思い出すのに専念した1日でした。(H・M)



今シーズンは年末年始の曜日の巡りが(私的に)悪く、この日帰りスキーが最初で最後のスキーになってしまいました。たった1日でも何か得るものがあればと思いつつ滑り始めましたが、みぞれの様な雪と時々かかってくるガスとで雪面の状況も分かりづらく、思うような滑りが出来ないのは自分の力不足だなぁと思いました。でもN夫妻と一緒に滑るのはコロナ前以来ですし、たった1日でしたが滑走日数0日にならなくて良かったです。(H・K)

<クラブの仲間からスキーに行きました報告>

◆家族スキー◆

(記 N・C)

今シーズン、1月と2月に家族で(といっても息子は部活で忙しく、夫婦2人でしたが…)日帰りスキーに行きました。1月は、雪不足で閉鎖されていたようですが直前の寒波でなんとか1本だけリフトが稼働した今庄365に行きました。2年ぶりのグレンデとコロナ禍でほとんど滑れていなかったこともあるのか、滑り出したら怖くて怖くてターンすらできなくなっていました。あまりもの滑れなさに引退を考えたほどでした。

今庄で、あまりに滑れなさ過ぎて2月の後半に控えているシティーの日帰りスキーで迷惑をかけてしまいそうだったので、それまでにもう一度滑っておきたいと思い、2月にびわ湖ハレイに行きました。が、中国の春節と重なったせいか、ロープウェイ乗り場は中国から来たと思われる家族連れの大行列で、ロープウェイに乗るだけで1時間以上かかりました!ただ、バーンの状態は上々で、前回の今庄に比べるとまあまあ滑ることができました。打見グレンデ〜汁谷の初心者バーンを2人で繰り返し滑り、「スキー楽しい」という気持ちを思い出しました。継続は大事。

◆ウィークデースキー報告◆

(記 S・K)

2024年1月17日(水)~19日(金) 岩岳スキー場

バスツアー・参加26名、17日晴、18日昼から雨、19日頂上霧

17日は快晴で白銀の白馬三山がきれいでしたが、宿に着いたのが14時、宿からグレンデまで10分歩かなければならないので、軽トラにスキーを積んで運び、班分けして滑り出したのは15時、私の班はNさんと女性二人、講師はOさん、ゴンドラで上まで行き最初はプルーク練習、私は斜面に負けて最後まで続かない、横滑りの練習などしていたら、16時になってあっと言う間に終わってしまった。宿に帰って私達右京労山6人は、1テーブルに固まって夕食、食事はお洒落で量もあって、ビールも出ておいしかった。グレンデに近かったらもっと良いのですが。

二日目はプルークボーゲンからパラレル、昼から雨が降り出したので早々に切り上げましたが、手袋が濡れて明日まで乾きそうにない、替えの手袋を持っていて良かった。ポールは張ってないが、競技用の練習急斜面グレンデがあって、見ているとたまに転倒する人がいて、板が置き去りになっていた。

三日目はゴンドラに乗って上に上がると霧で10mぐらいしか見えない、講習にならず又ゴンドラに乗って下に降り、下のリフトに乗りここでパラレルの講習、雪質も悪いのでこけないよう、ケガしないよう滑っていたので、満足した滑りが出来なかった。

私の前の靴は古くなって履くのに苦労したので、ノルディカの昔の前後に開く形式の靴を買った、歩くのも楽、履くのも楽で足にピツタリ。

Oさんに「地震はどうもなかったん?」「机を抑えつけて耐えて家もどうも無かった」車も白い普通車、若者が乗るような格好いいトヨタ「全財産はたいて買った」「雪おこし」に入って、楽しそうにしてはりました。

岩岳スキー場はゴンドラ中心のグレンデで、天気のよい時に思い切り滑ってみたいと思いました。バスは一人1座席で楽でした。この年になると、バスでないといけませんので良かった。



妙高高原・赤倉観光リゾートスキー場へ、一人合宿（2月初旬～三週間）に行ってきました。往復 950K 燃料代の高騰で、昨年まではシーズン 2 回行ってましたが、年金生活でもあり一回の移動で済ます行事としました。この時期は結構な降雪があるのですが、報道の通り気温上がることも多く、二日間でゲレンデ上部の昼間温度が-7度翌日+8度の時もあり、通して 70cm ほどしか降らず 3 日も雨が降り、ゲレンデの降雪表示も下がる状況でした。リフトに乗り合わせた地元の人でも例年の半分も降ってないと言っていました。雪上 16 日で予定より少なくなりました。

ここからは浮かんだことを箇条書きにします。

シニアのシーズン券が 3,000 円値上がりして、今シーズンから 3 万円になりました。現地リフト券を買う場合シニア 3 日券が 10,200 円なので、9 日（3 回分）で 30,600 円となり、10 日目以降から元が取れます。今シーズンからゲート式に変わりました。

このスキー場気に入っているのは、車をゲレンデ脇に止められることで、ブーツを履けば数歩で雪の上に立えます。色々なスキー場に行きましたがこんな所は無いです。

休憩を除き 1 日 4 時間（リフト+滑走）をノルマとして滑っていましたが、73 才ともなればオフにそれなりのトレーニングをしているつもりでも、滑ることの役に立っていないのが実情です。フラット斜面だけならまだしも、苦手なコブになじも

うと悪戦苦闘、リフト 1 本でコブの数だけターンするとして、運動量は数倍以上になり転倒もするし、怪我のリスクもあり、少しの突っ込みで逃げていても身体がダメージを受けます。コブでほとんど直滑行の様にぶっ飛んでくスキーヤーを見ていると、暫く立ち尽くしてしまいます。

コロナが開けて外国人スキーヤーが溢れています。平日などは半分以上の比率ではないかと思います。ただ外国人は、ゲレンデよりバックカントリーが好みなので、コース外のあらゆる所に進出していて、木が林立していても、平気で突っ込んでいて、気質が全く違うようです。

ここではスキーヤー 4 割ボーダー 6 割らしいですが、もっとボーダーの方が多く感じます。おじさん方にもボーダーが増えていてびっくりします。滑って手をついて、飛んで回転して、こけて雪と戯れて楽しむ

のと、こけない事を前提に滑るスキーヤーとでは、楽しさの次元が全く違うのでしょうか。

最近のスキー用具についてですが、スキー用具のファット系もよく見かけるようになりました。外国人はオフピステ好きが多いので、よく履いています。私も日によってはファットスキーで滑りましたが、必要以上にエッジの掛りが無くゲレンデでもターンが楽に感じます。カービングも出来ますし、スキーが軽いので体への負担少なく操りやすいです。

滑りに関しては、私は左右の股関節の柔軟性が違いバランスが悪くて、特に右外足の左ターンが相当意識しなければ上手く乗れない事がよくあります。永遠のテーマです。滑りの色々な工夫も持ち合わすようにしていますが、それを駆使して楽しむ事がスキーと思っているので飽きがこないです。



行事報告 <京都スキー協>

○第9回ウィークデーツアー

令和6年1月17日(水)～19日(金) 岩岳スキー
シティからはSさんが参加され報告と感想をいただきました

○初級指導員検定会(指導員部)

令和6年2月17日(土)～18日(日) 氷ノ山国際スキー場
シティからの参加はなし

○2024年京都フェスティバル

令和6年3月22日(金)～24日(日) 梅池高原スキー場
集客不足のため中止になりました



行事予定 <クラブ行事>

○第44回シティスキークラブ総会 例年6月に開催ですが今年は7月初旬に開催の予定です

行事予定 <全国・関西B・京都スキー協>

詳細は、スキー協役員やクラブ担当者にお尋ねください!

○関西ブロック春のレベルアップ研修会(主管:京都)

令和6年4月5日(金)～7日(日) 志賀高原一ノ瀬スキー場
申し込みは×切3/24 詳細配信済み

こんなことしてます

★★★はまっていること、推し、トライしたいこと、しようと思っていること 等々★★★



<6日目>

朝から雨。10時頃雨が止む予報なので、ホテルで待機。10時に太宰府天満宮に向けて出発。天気図は西高東低が続き、風が強いです。広い国道は、強風のふらつきが怖すぎるので、町道をジグザグに進みました。

昼過ぎに太宰府天満宮に到着。まるで、伏見稲荷に来ているような、車と外国人・・・何とか駐車場を見つけ、太宰府天満宮へ。韓国語と中国語ばかり。韓国からは5,000円位で日本に来れるらしい。おしゃべりな駐車のおばちゃんが言ってました。お祈りして、娘の学業のお守り買いました。天気が悪いので、早々に佐賀に戻ります。



〈7日目〉

今日は、阿蘇への移動です。前日の雪で、目標のやまなみハイウェイは、雪で通行止めです。明日までに、溶けてくれればいいのですが。日曜日なので、阿蘇への道はバイクツーリングで一杯です。登りに次ぐ登りで、4時間ほどようやく大観峰(阿蘇外輪山の北の端)に着きました。

写真(パノラマ)では、分かりにくいですが、壮大です。こんな火口が本当に噴火したなら、九州に人住めないですね。



大観峰から、山を下って、ホテルに到着。ゴルフ場のホテルです。



ゴルフ場のエントランスらしい外観です



今回の旅行で一番立派な部屋です

でも何か、韓国語や中国語が飛び交っています???その意味は、朝食の時に理解できました。

〈8日目〉

朝食会場です。韓国の方と台湾の方の大集団です。

わ・私の席が無い・・・奥の端っこに座りました。バイキング形式で、並んでいると、少し間隔が開くと、横入り・・・トレーで後ろからつついてくる。げんなりしました。日本と違って、我先の文化なのは理解していますが・・・(ホテル側の管理ができていない?できない?)

トレーを全員分片付けて、テーブルを元の状態にする理解のある韓国人の方も居られましたが。

ホテルの評価は、☆☆☆☆☆→☆☆になりました(笑)

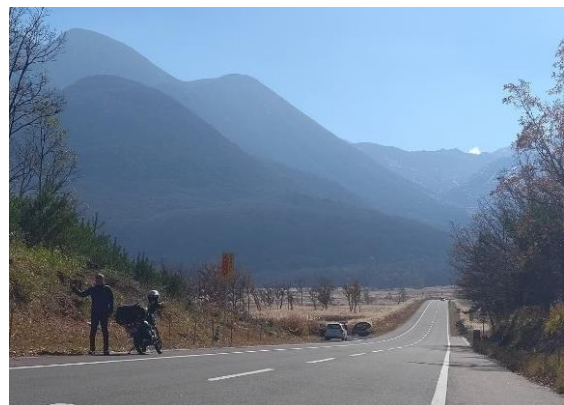
そんなこんなで、やまなみハイウェイに向けて出発です。チェーン規制も今朝からは、解除されてました。



41年前の高3の卒業ツーリングの写真



今回の写真



今回の一番やりたかったことが、この写真を撮ることです。行く前から、この写真を何処で撮ったのか、調べました。やまなみハイウェイで撮ったことし覚えて無くて・・・ヤフーの画像で、どうやら九重連山の長者原という場所であることが、分かりました。やまなみハイウェイは、残雪が残り、晩秋のツーリングのつもりでしたが、冬のツーリングです。念のための電熱グローブ、ヒートテックが役に立ちました。写真撮って、ちょっと感激しました・・・

今回のツーリングは、寒さと強風との戦いでした。それに何処に行っても、観光地は外国人(ほとんど韓国人と台湾人)ばかり。これで中国本土からの観光客が戻ったら、オーバーツーリズム処じゃ無い・・・

ツーリング自体は、40年前のツーリングと違い、ナビがあるので、道路脇に止まって地図を広げることが無くなったので、とても楽になりました。天候が悪く、長崎の本土最西端(神崎鼻)に行くことができなかったのが、心残りですが、いつかリベンジします。



総走行距離 948.1km

ガソリン 15.27L

燃費 62.1km/L (カタログ燃費は 67.2 km/L 山道多かったので上出来です)

《実際のルート》

H・M



編集後記

3月も半ばを過ぎ今年のスキーシーズンが終わろうとしています。クラブの皆さんの今シーズンのスキーはいかがでしたか？ 我が家では年末あたりからバタバタし始め、そんなつもりはなかったのに気づいたら日帰りスキーの1日だけで今年のスキーシーズンが終わってしまいました。

強い意志を持って何かをやり続けるのはなかなか大変な事で、人が同時に力を注げる事はそんなに多くないので、限られた時間で何を選択していくのか？ 日常の中にある何気なく選んだ事も、一生懸命に考えて選んだ道も、自分が選択した道として、結果がどうなろうと受け入れてその道を進むしかなくて、また新しい季節が巡ってくる今、少しずつ変化しながら見えない未来に向かって進んでいくんだと、考える今日この頃です。

H・K